

# ホッととどろく愛

このコーナーは、市内で福祉活動をされている方や

団体にスポットを当てたインタビューコーナーです

7月～9月に開催された「ユースボランティア茅ヶ崎2024」に参加された方の中から丸田さん、石附さんのお二人にお話を伺いました。

自己紹介をお願いします！

**石附さん(大学2年生)**：大学では社会学と環境学を専攻しています。初めて参加したのは中学1年生の時、ユースボランティア茅ヶ崎(以下ユース)後も、月1、2回ちがさき市民活動サポートセンター(以下サポセン)のボランティアを続けてきました。最初は受験で有利になるかも?と親から勧められたのがきっかけです。

**丸田さん(高校2年生)**：部活や塾やアルバイトで忙しい毎日です。高校に入る時に他市から引越してきたのですが、小学生の時から社会福祉に関わる仕事がしたいと思っていたので、ユースを知ったことが良いタイミングになって、去年から参加しています。

どんな活動に参加しましたか？

**石附さん**：サポセン、海岸清掃、動物愛護の活動などです。

**丸田さん**：子育てサロンや高齢者や障害児・者の施設の活動に参加しました。人手が足りないところや飛んでいきたいと思つています。去年とは別々の所に行くことによって違う暮らし、施設によって1日の流れとか、生活リズムの違い、自分が働く上で何を意識したらいいのかなどが分かって良いと思えました。



石附さん オリエンテーションの様子

活動に参加しての感想や、得たものを教えてください。

**丸田さん**：8月20日に行われた「シェアdeボランティア」(注：ボランティア体験の共有会の時に、ボランティア体験先である団体や施設側も学生を信頼して受入れているんだなという事が分かりましたし、参加者も100名以上いたことも驚きました。福祉の仕事をこれから考えていく上で、人の生活を支えるということってすごく大切な役割で、それを私達がやるのは重いこと、責任が大きいことかもしれないけど、それで人の助けになったり笑顔になったりということを体験させてもらって感じました。続けたら、多くの人に広めたいと思えました。



丸田さん「シェアdeボランティア」の様子

**石附さん**：とても貴重な体験をしてきたと思つています。学校生活、私生活で出会えない人たちが団体に出会えますし、年齢層も幅広いです。また、自分の行動力の変化ですね。部活の部長や外部の高校生の新聞の記者など、皆がやらないようなことにチャレンジしようという成長や、考え方の変化はユースを通して得たものかなと思います。自分もユースでそういうふうになるとは思っていなかったです。大学で環境学を勉強しているのも、サポセンのフリースペースに色々な方が集まって、茅ヶ崎が好きで環境を大事にしようという話し合いをしている声も聞えてきたのがきっかけです。

**石附さん**：地域デザインや多文化共生プログラムもこれからやりたいことなど、何かあれば教えてください。



サポセンの活動にも関わりがありますし、経済学なども学びながら、何かそういうことに携われたらいいなと思つています。

**丸田さん**：これからは定期的にボランティアに取り組んで、知るだけじゃなくて自分がどう行動するべきかなど、学生のうちから考えていきたいです。福祉の学部に進学して資格を取りたいです。ボランティア体験先の施設の方から、やってあげるのではなくて、その人ができることを手伝うみたいな感覚で仕事をさせてもらっている話をしてもらったのですが、自発的にやりたい、自分でやる楽しさ、選ぶという視点をもらいました。

記事を読んでくれた人に一言お願いします。

**丸田さん**：学生からいきなり社会に出て生活が切り替わって仕事というのではなくて、前置き段階の練習という感じでボランティアを始めてみるのも良いと思います。想像していたものとまた違ったものが見られるかもしれないというのはあると思います。

**石附さん**：世の中ではボランティアは人手不足、若者が興味ないんじゃないかというイメージかも知れませんが、私達みたいに興味があつてやっている子は結構いるんだということは知ってほしいです。同世代に向けては、ボランティアは歳の上の人たちのものではなくて若者がやれるし、やっていいものだよってことです。新しい出会いや貴重な体験ができて、楽しいし面白いと思いますよ。

## インタビューを終えて

お2人から、ボランティア活動が持つ魅力や可能性、またサポセンをすることの素晴らしさや大切さを改めて教えていただいたように感じます。貴重なお話をありがとうございました。市協のボランティアセンターも、これからも多くの皆様の活動をサポートできるように活動を続けていきますので、どうぞよろしくお願いいたします！



丸田さん石附さんインタビューの様子

あなたがたいご支援をありがとうございました

いただいた寄附金は、ボランティアグループ・当事者団体の活動支援等、本会の行う地域福祉事業の充実に活用させていただきます。どうもありがとうございました。

寄附者(芳名(敬称略))

受領期間：令和6年6月1日～令和6年10月8日

渡辺美津子

福祉サロン海岸

神奈川土建一般労働組合茅ヶ崎寒川支部

一般財団法人光之村

有限会社茅ヶ崎パンテック

イトーヨーカドー労働組合茅ヶ崎支部

小松澤美千代

カトリック茅ヶ崎教会バザー委員会

平和町公園愛護会

ほか匿名3名

寄附金は、市社協にて

随時受付をしております

窓口での受付

受付時間：8時30分～17時15分 (土日・祝日・年末年始を除く)

※窓口への来所が難しい方は、本会が受け取りに伺います。事前にお電話やFAX、メールにてご相談ください。受付時間は、窓口での受付と同様です。

口座へお振込み

振込先) 湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部

(普) 4134906

社会福祉法人茅ヶ崎市民社会福祉協議会

会長 水島静夫

※お振込みを確認した後、本会より領収証及びお礼状をお送りいたしますので、必ず事前にお電話やFAX、メールにてお名前(ふりがな)、ご住所及びご連絡先、お名前公表の可否をご連絡ください。

※寄附者の方々は、本会広報紙でご紹介させていただきます(公表不可の場合は匿名とさせていただきます)。

※お手数ですが、振込手数料はご負担ください。

## 市社協(正規)職員 大募集!

「地域福祉に取り組む熱い人材をたれ！」



募集人員：若干名 (令和7年4月1日採用)

※詳細は市社協ホームページをご覧ください。

